

宮城県における 耳鼻咽喉科学学校健診の現状

日本耳鼻咽喉科学会宮城県地方部会学校保健部
熊谷重城・稲村直樹・三好 進・沖津卓二・渡辺 充

**アンケート1: 高校生の健診に対する
学校医の意識調査**

**アンケート2: 学校健診に使用する
器材の充足状況**

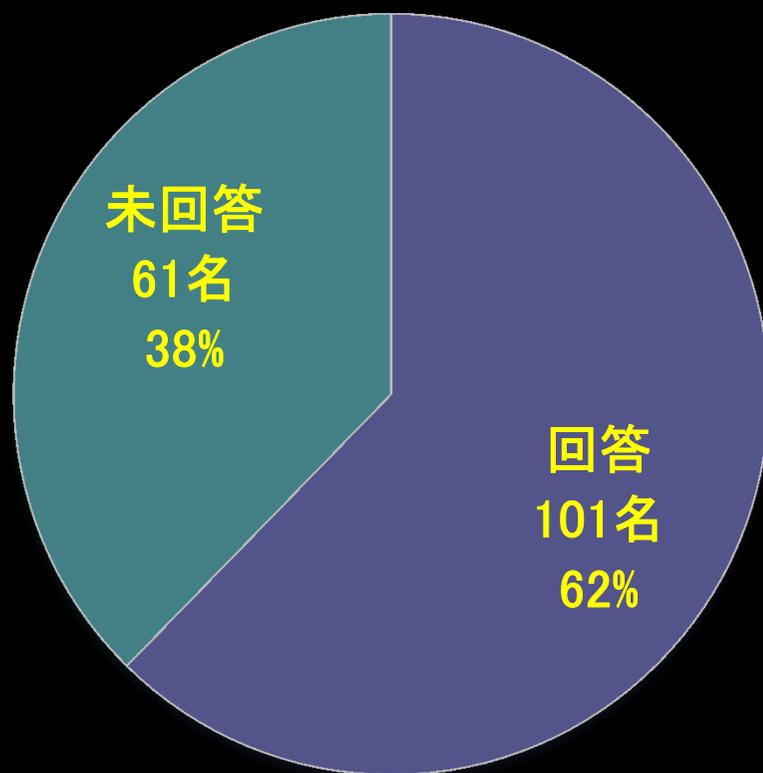
アンケート1

高校生の健診に対する

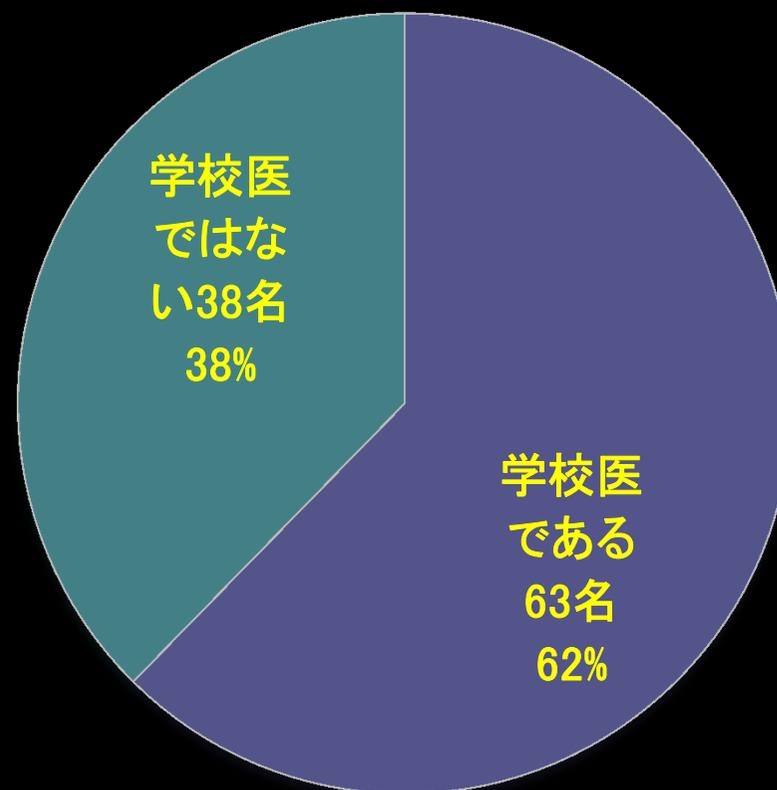
学校医の意識調査

2012年調査

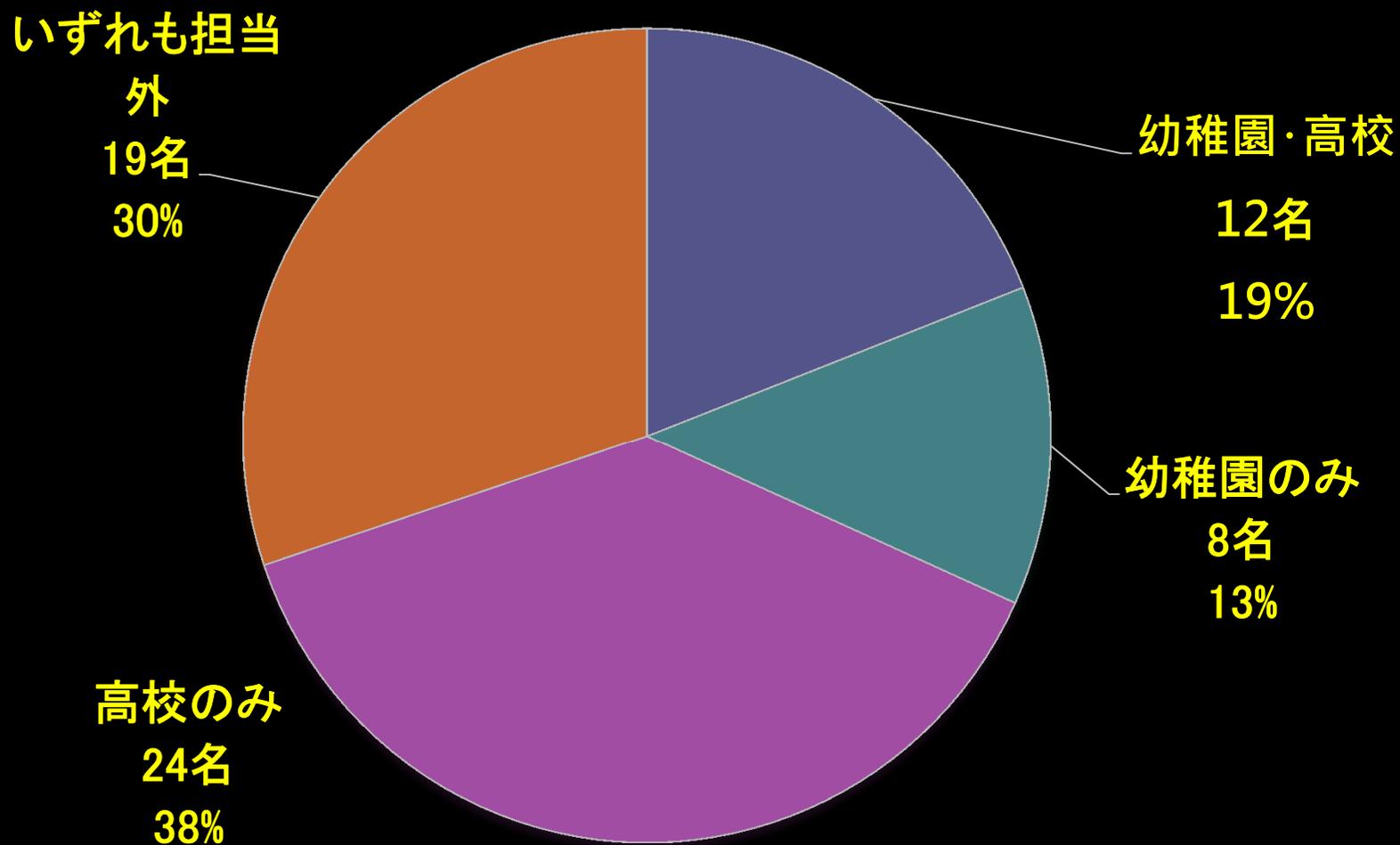
宮城県地方部会会員 162名(2012年)



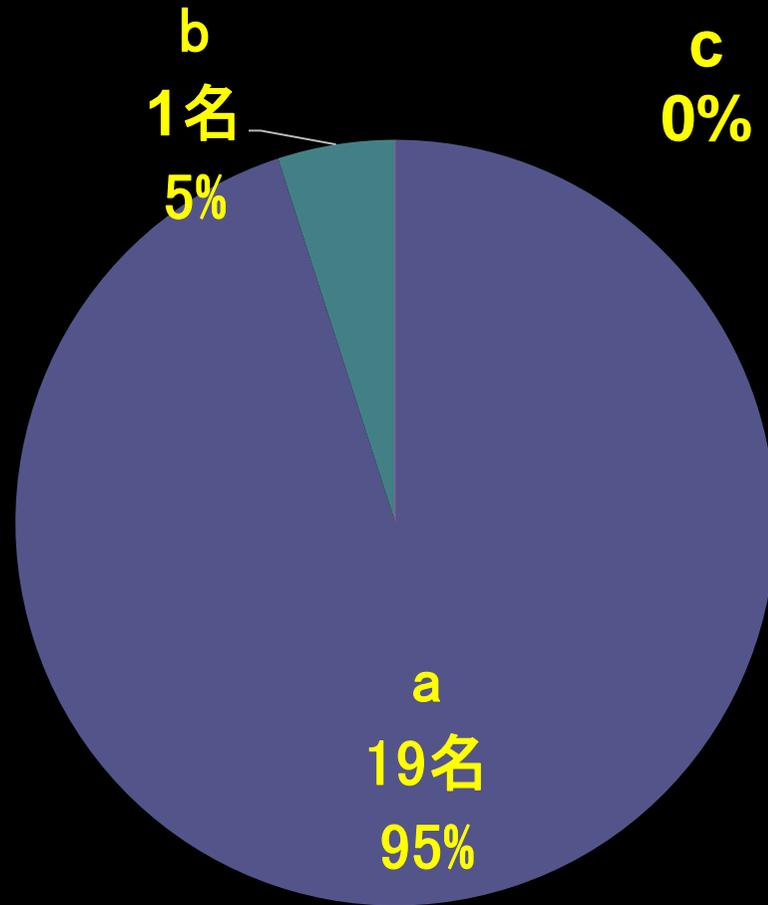
学校医をしているか



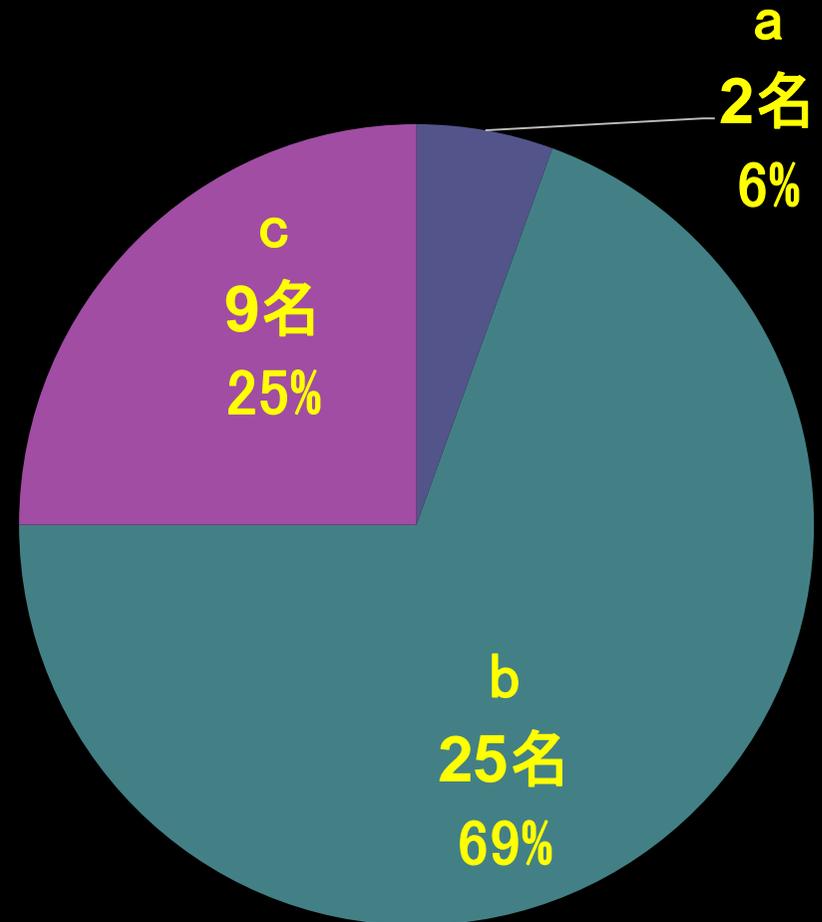
担当している学校のうちわけ



幼稚園

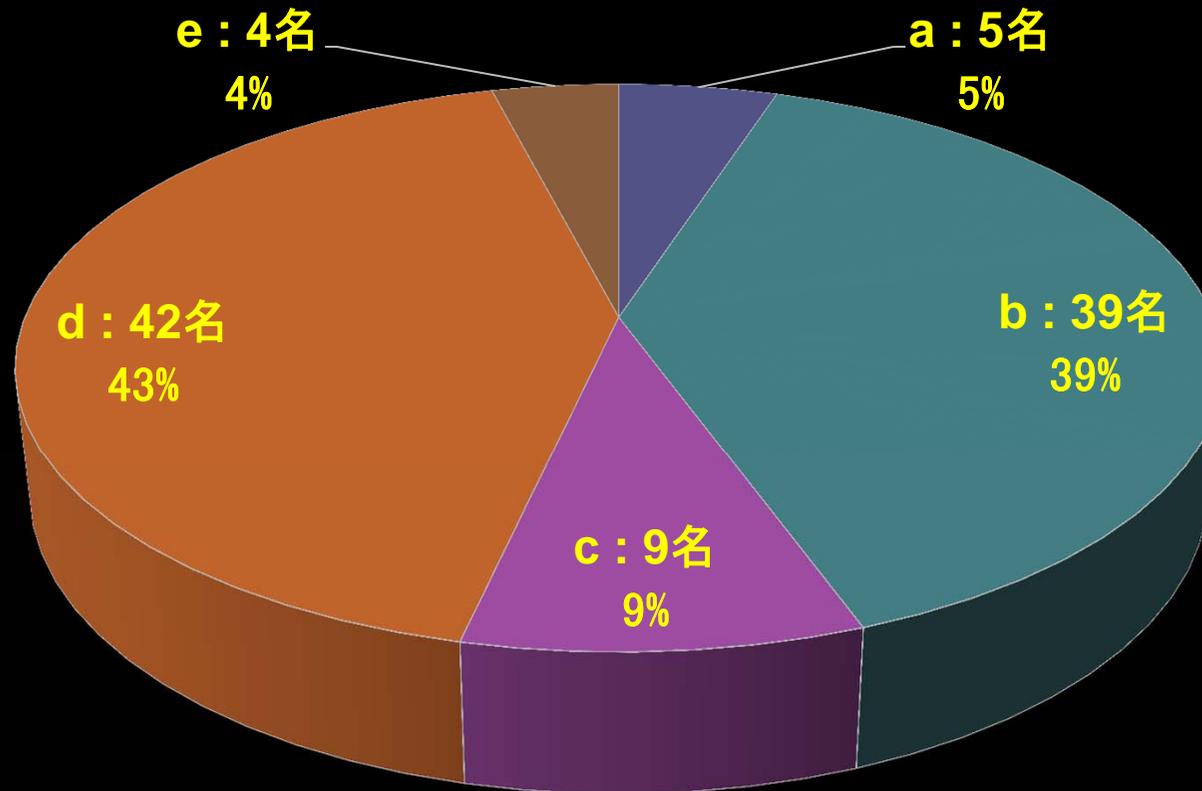


高校



- a: 全員・全器官(耳・鼻・咽頭)を視診している
- b: 抽出した被健診者・全器官を視診している
- c: 抽出した被健診者・一部の器官を視診している

高校生の健診に対する校医の意識



- a: 高校生の健診は低年齢児と同様必要である。
- b: 高校生の健診は低年齢児ほどの重要性はないが必要である。
- c: 高校生の健診は必要ではないと考えているが行うべきである。
- d: 高校生の健診は必要ではない。
- e: その他。

回答してもらった校医の半数以上が高校生の健診は必要ではないと考えている

- ・健診を行っても見つかるのはアレルギー性鼻炎ばかり。
- ・アレルギー性鼻炎も含めて、他の疾患でも通知しなくても自覚症状でわかるはず。
- ・たとえ通知をしても受診率が低すぎる。親も治療に消極的。

高校生の健診は必要ではないと
考えている宮城県の傾向は東北
地方の他の県でも同様か？

低年齢児と同様の健診が必要
であるという意見が多い県も
あった。

高校生の健診を重要視 している県の傾向

- ・耳鼻咽喉科健診を行っていない学校が多い。
- ・健診を行っていない学校の校医を希望している医師が多い。
- ・しかしながら行政・学校側からは耳鼻咽喉科健診の要望が強くない。

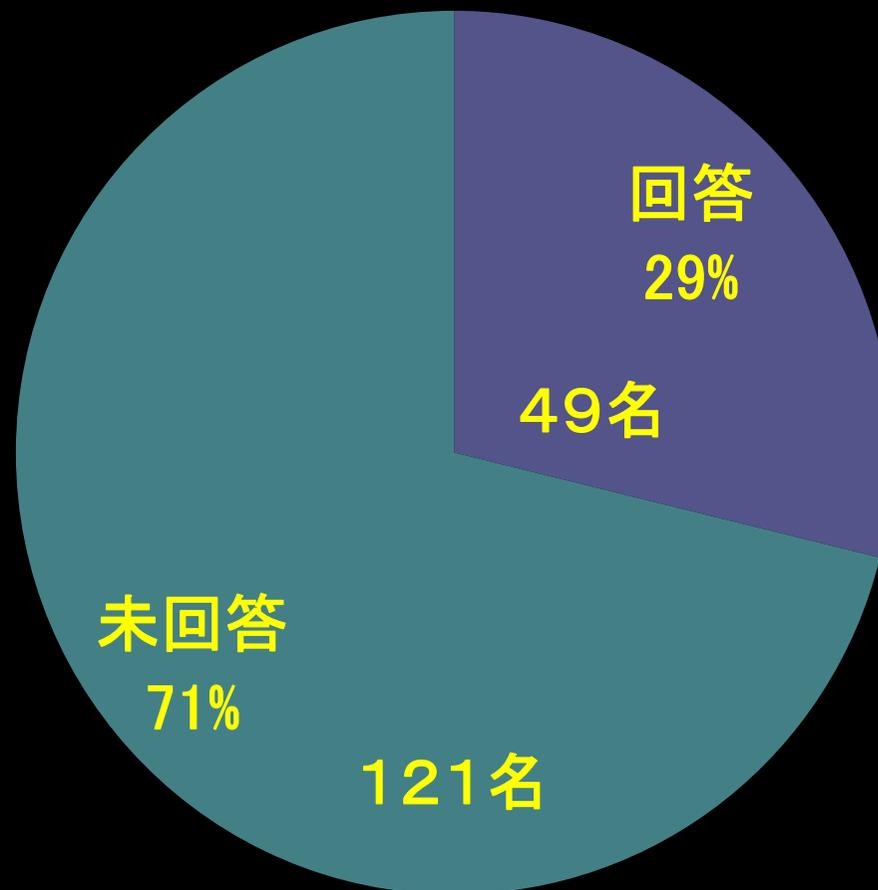
アンケート2

学校健診に使用する

器材の充足状況

2013年調査

アンケート2



2013年宮城県地方部会正会員数170名

ディスポ
3%

耳鏡

その他
35%

人数分
62%

その他
3%

鼻鏡

人数分
97%

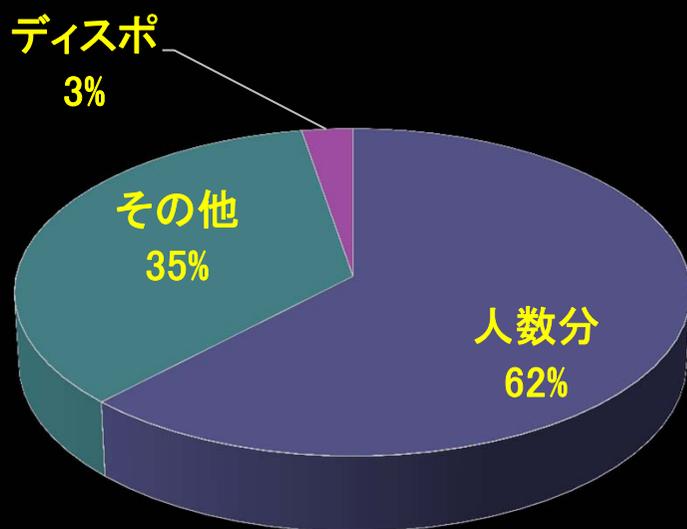
ディスポ
37%

人数分
63%

その他
0%

舌圧子

耳鏡



- ・耳鏡を人数分用意する必要性があるか？
- ・感染の可能性は？
- ・聴診器と同様に考えて良いか？

まとめ

アンケート1: 高校生の健診に対する学校医の意識調査

- ・宮城県では高校生の健診に対して消極的な意見の学校医が多かった。

アンケート2: 学校健診に使用する器材の充足状況

- ・鼻鏡・舌圧子はほぼ充足していた。
- ・耳鏡も人数分準備している学校が増加していると思われる。